

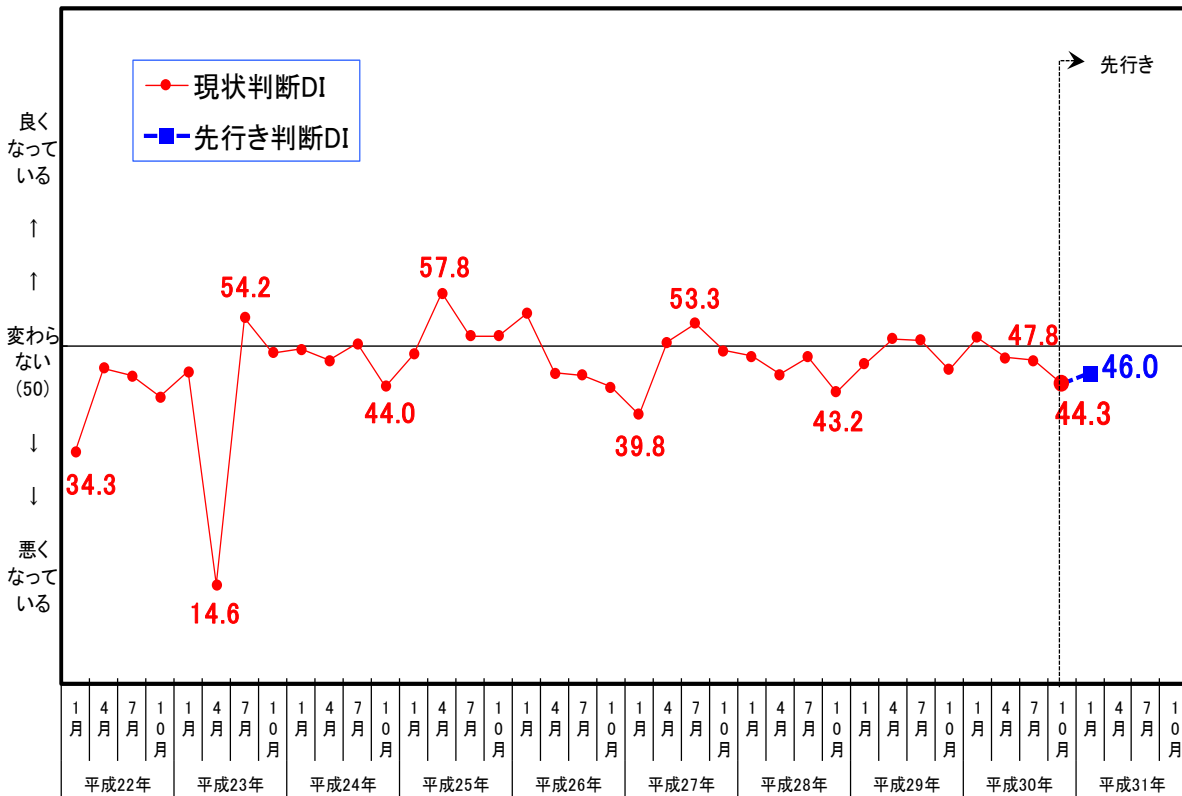
# 青森県景気ウォッチャー調査 (平成30年10月期)

調査期間 平成30年10月1日～10月17日 回答率100%

**概 況**

10月期の景気の現状判断DIは44.3となり、3期連続で50を下回った。  
先行き判断DIは、現状判断DIと比べて1.7ポイント増加の46.0となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



平成30年11月

青森県企画政策部統計分析課

## 1. 結果概要

※設問によっては、無回答の場合もあり、設問毎の調査客体数は100とならない場合もある。

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が増減なし、「やや良くなっている」が5.0ポイント減少、「変わらない」が3.0ポイント減少、「やや悪くなっている」が7.0ポイント増加、「悪くなっている」が1.0ポイント増加により、全体では3.5ポイント減少の44.3となり、景気の横ばいを示す50を3期連続で下回った。

判断理由では、インバウンド客や県外観光客の増加や、宿泊予約の好調などのプラス面がある一方で、台風、地震等の自然災害による悪影響や、消費者の購買意欲の低下などといったマイナス面をあげる声があった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で3.7ポイント減少、企業関連で増減なし、雇用関連で10.7ポイント減少した。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、県南地区では増減なしだったが、他の3地区では減少した。DIは、全地区で50を下回った。

### (2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が増減なし、「やや良くなる」が11.0ポイント減少、「変わらない」が6.0ポイント増加、「やや悪くなる」が1.0ポイント増加、「悪くなる」が4.0ポイント増加により、全体では5.0ポイント減少の46.0となり、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに下回った。

判断理由では、秋のイベントや紅葉シーズンに伴う来街者の増加や、消費税増税前の駆け込み需要を期待する声があった一方で、原油価格高騰による家計への圧迫や、米中貿易問題による悪影響を懸念する声があった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で6.6ポイント減少、企業関連で1.4ポイント増加、雇用関連で3.5ポイント減少した。特に家計関連のサービスで大きく減少した。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが減少し、特に東青及び津軽地区で5.8ポイント減少した。DIは、全地区で50を下回った。

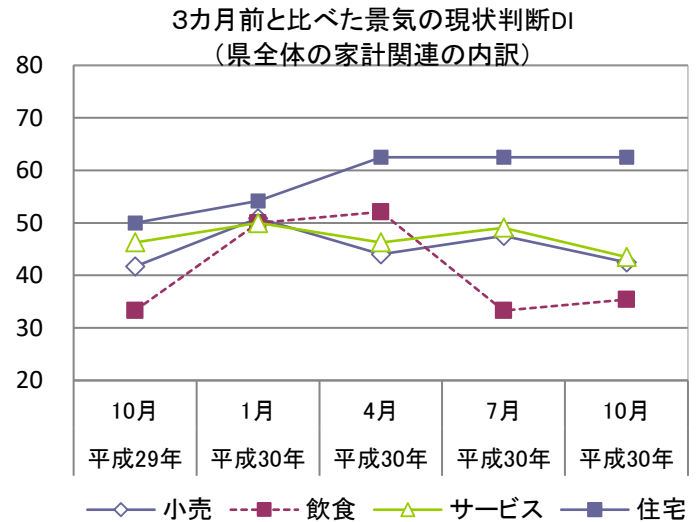
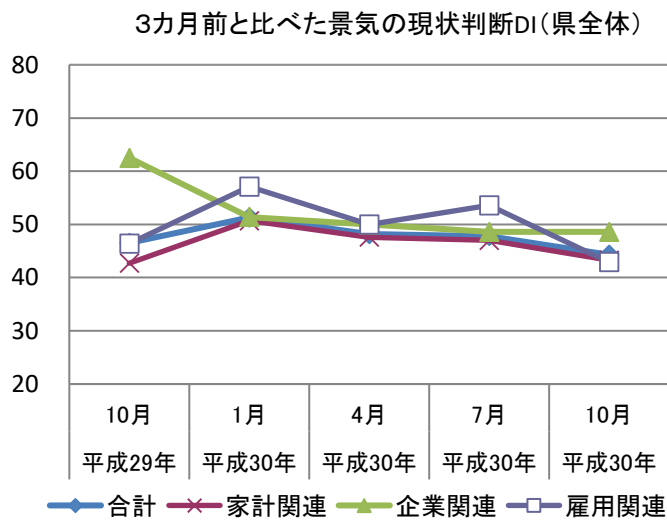
## 2. 県全体の動向

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

#### ①DI

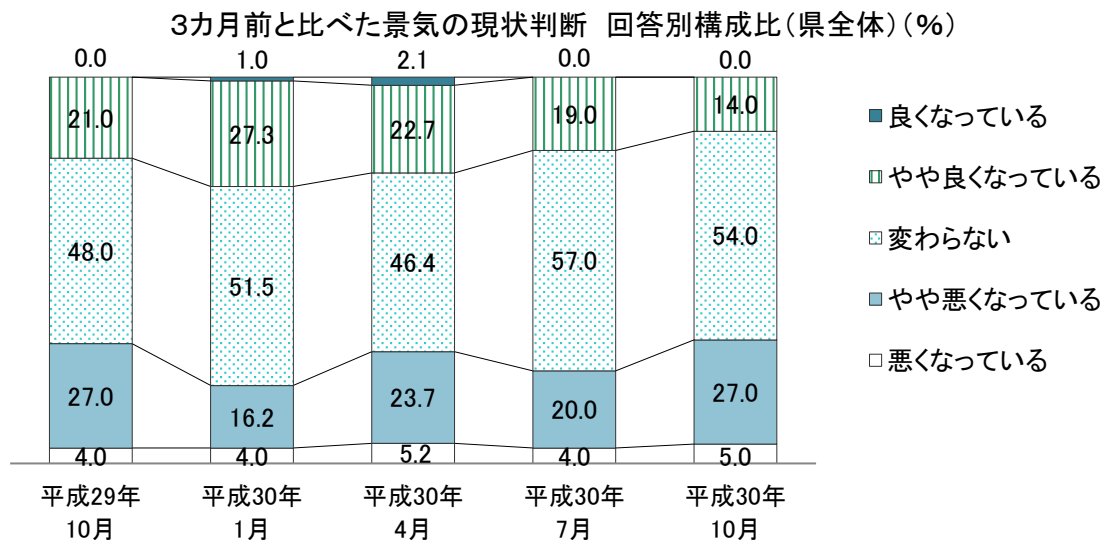
n = 100

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>46.5</b>	<b>51.3</b>	<b>48.2</b>	<b>47.8</b>	<b>44.3</b>	<b>▲ 3.5</b>
家計関連	42.7	50.7	47.6	47.0	43.3	▲ 3.7
小売	41.7	50.9	44.0	47.5	42.5	▲ 5.0
飲食	33.3	50.0	52.1	33.3	35.4	2.1
サービス	46.3	50.0	46.3	49.1	43.5	▲ 5.6
住宅	50.0	54.2	62.5	62.5	62.5	0.0
企業関連	62.5	51.4	50.0	48.6	48.6	0.0
雇用関連	46.4	57.1	50.0	53.6	42.9	▲ 10.7



#### ②回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	1.0	2.1	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	21.0	27.3	22.7	19.0	14.0	▲ 5.0
変わらない	48.0	51.5	46.4	57.0	54.0	▲ 3.0
やや悪くなっている	27.0	16.2	23.7	20.0	27.0	7.0
悪くなっている	4.0	4.0	5.2	4.0	5.0	1.0



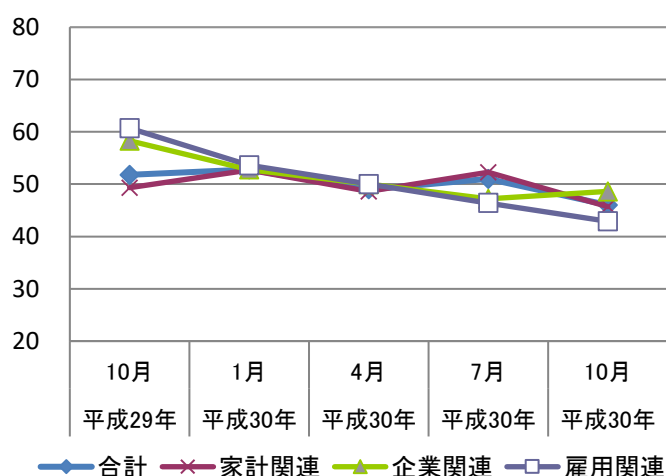
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

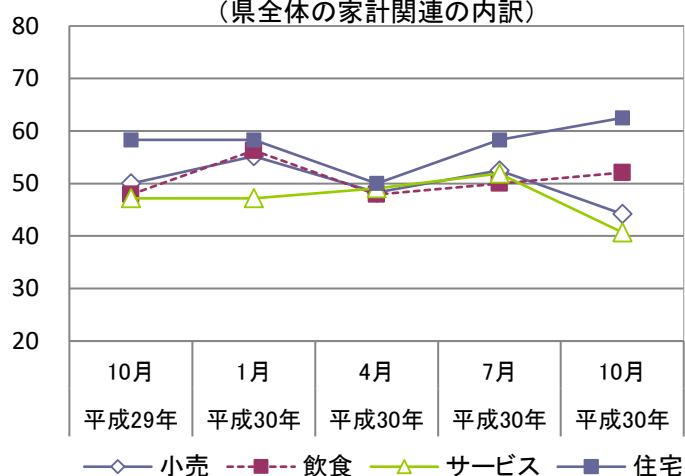
n = 100

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
合 計	51.8	52.8	49.0	51.0	46.0	▲ 5.0
家計関連	49.3	52.7	48.6	52.3	45.7	▲ 6.6
小売	50.0	55.2	48.3	52.5	44.2	▲ 8.3
飲食	47.9	56.3	47.9	50.0	52.1	2.1
サービス	47.2	47.2	49.1	51.9	40.7	▲ 11.2
住宅	58.3	58.3	50.0	58.3	62.5	4.2
企業関連	58.3	52.8	50.0	47.2	48.6	1.4
雇用関連	60.7	53.6	50.0	46.4	42.9	▲ 3.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(県全体)



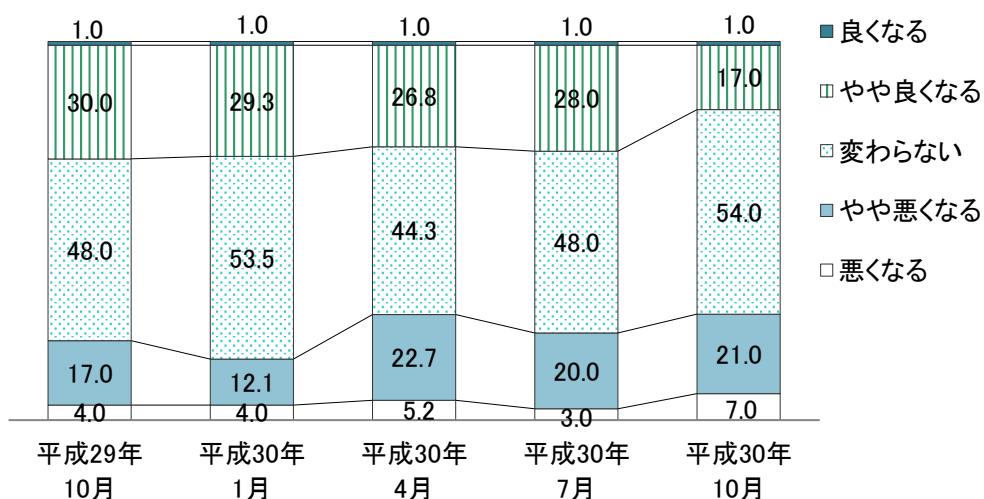
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(県全体の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	30.0	29.3	26.8	28.0	17.0	▲ 11.0
変わらない	48.0	53.5	44.3	48.0	54.0	6.0
やや悪くなる	17.0	12.1	22.7	20.0	21.0	1.0
悪くなる	4.0	4.0	5.2	3.0	7.0	4.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県全体)(%)



### 3. 地区別の動向

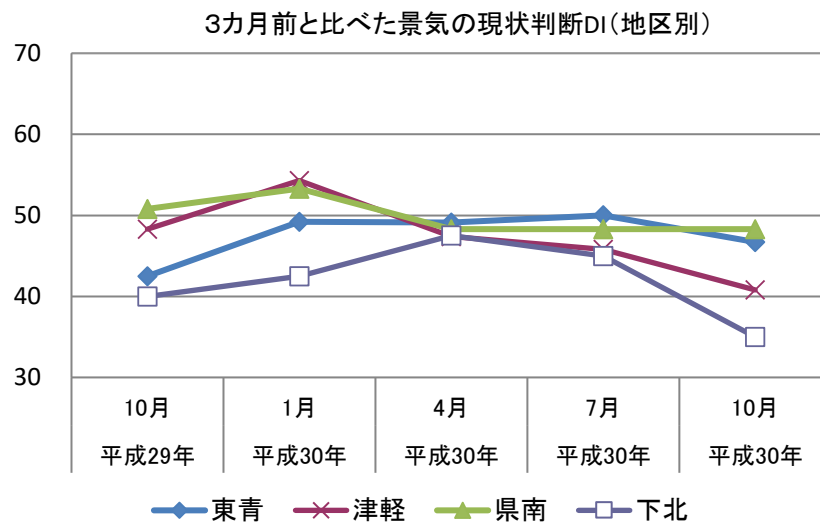
#### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

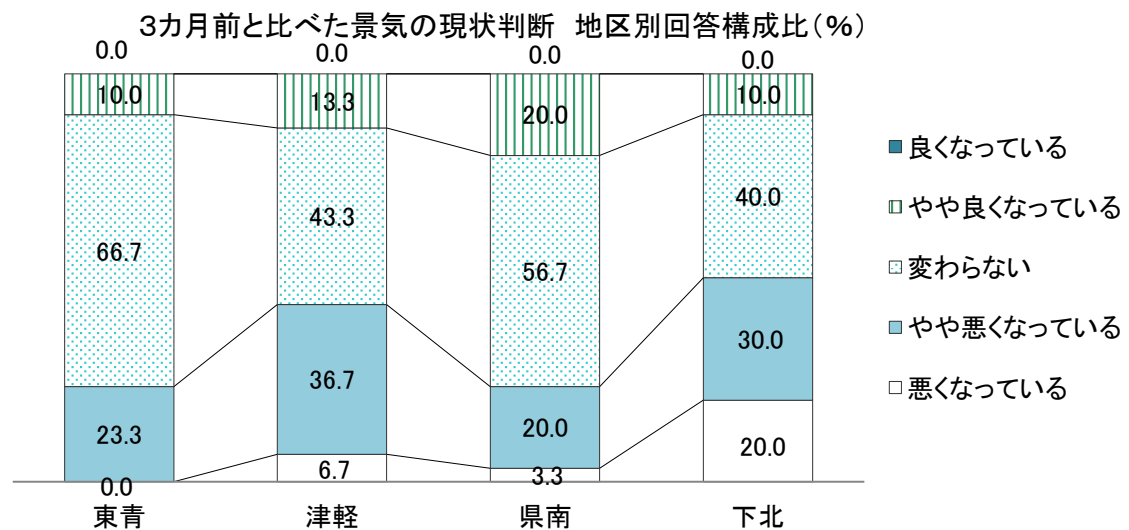
n = 100

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>46.5</b>	<b>51.3</b>	<b>48.2</b>	<b>47.8</b>	<b>44.3</b>	<b>▲ 3.5</b>
東青	42.5	49.2	49.1	50.0	46.7	▲ 3.3
津軽	48.3	54.3	47.4	45.8	40.8	▲ 5.0
県南	50.8	53.3	48.3	48.3	48.3	0.0
下北	40.0	42.5	47.5	45.0	35.0	▲ 10.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	13.3	20.0	10.0
変わらない	66.7	43.3	56.7	40.0
やや悪くなっている	23.3	36.7	20.0	30.0
悪くなっている	0.0	6.7	3.3	20.0



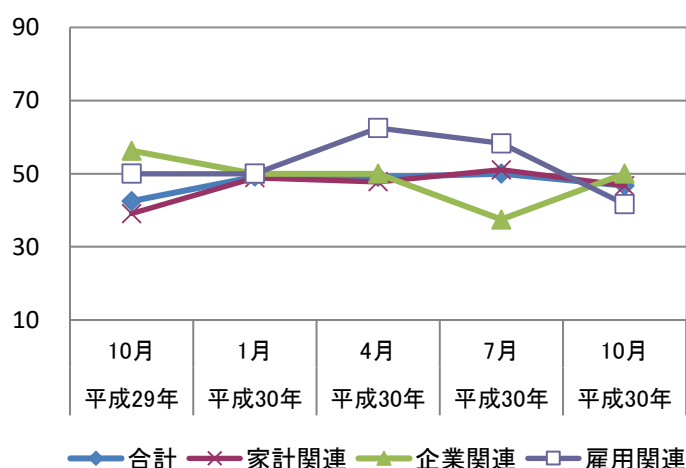
<東青地区>

①DI

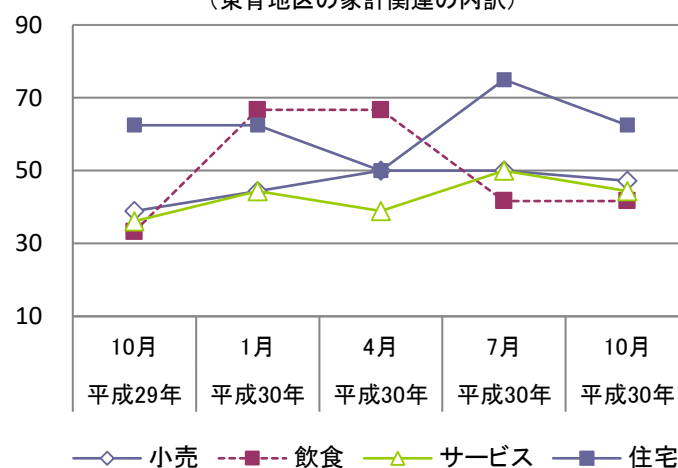
n = 30

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>42.5</b>	<b>49.2</b>	<b>49.1</b>	<b>50.0</b>	<b>46.7</b>	<b>▲ 3.3</b>
家計関連	39.1	48.9	47.8	51.1	46.7	▲ 4.4
小売	38.9	44.4	50.0	50.0	47.2	▲ 2.8
飲食	33.3	66.7	66.7	41.7	41.7	0.0
サービス	36.1	44.4	38.9	50.0	44.4	▲ 5.6
住宅	62.5	62.5	50.0	75.0	62.5	▲ 12.5
企業関連	56.3	50.0	50.0	37.5	50.0	12.5
雇用関連	50.0	50.0	62.5	58.3	41.7	▲ 16.6

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



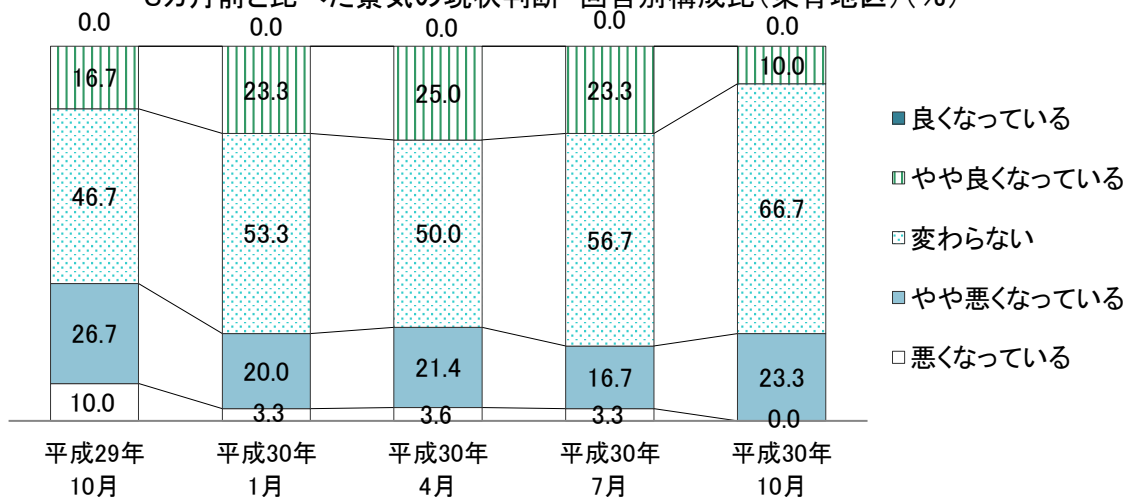
3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	16.7	23.3	25.0	23.3	10.0	▲ 13.3
変わらない	46.7	53.3	50.0	56.7	66.7	10.0
やや悪くなっている	26.7	20.0	21.4	16.7	23.3	6.6
悪くなっている	10.0	3.3	3.6	3.3	0.0	▲ 3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



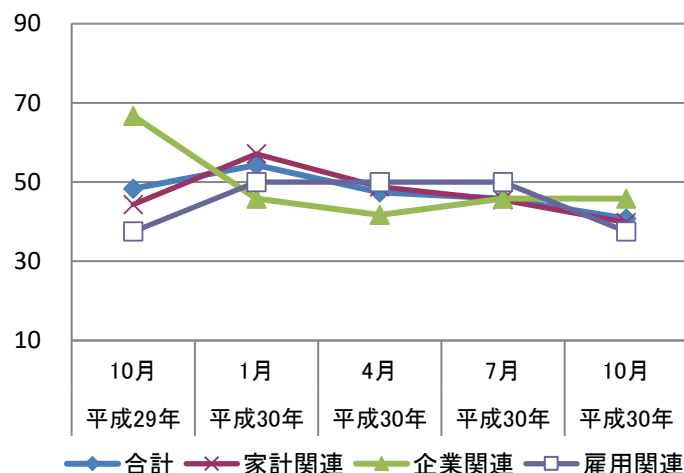
<津軽地区>

①DI

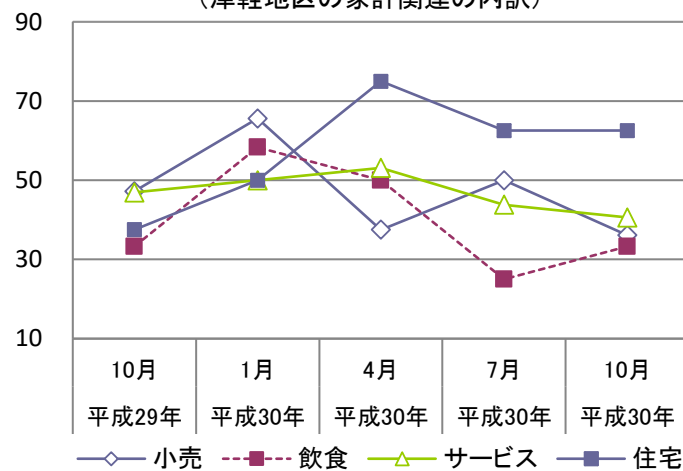
n = 30

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>48.3</b>	<b>54.3</b>	<b>47.4</b>	<b>45.8</b>	<b>40.8</b>	<b>▲ 5.0</b>
家計関連	44.3	57.1	48.8	45.5	39.8	▲ 5.7
小売	47.2	65.6	37.5	50.0	36.1	▲ 13.9
飲食	33.3	58.3	50.0	25.0	33.3	8.3
サービス	46.9	50.0	53.1	43.8	40.6	▲ 3.2
住宅	37.5	50.0	75.0	62.5	62.5	0.0
企業関連	66.7	45.8	41.7	45.8	45.8	0.0
雇用関連	37.5	50.0	50.0	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



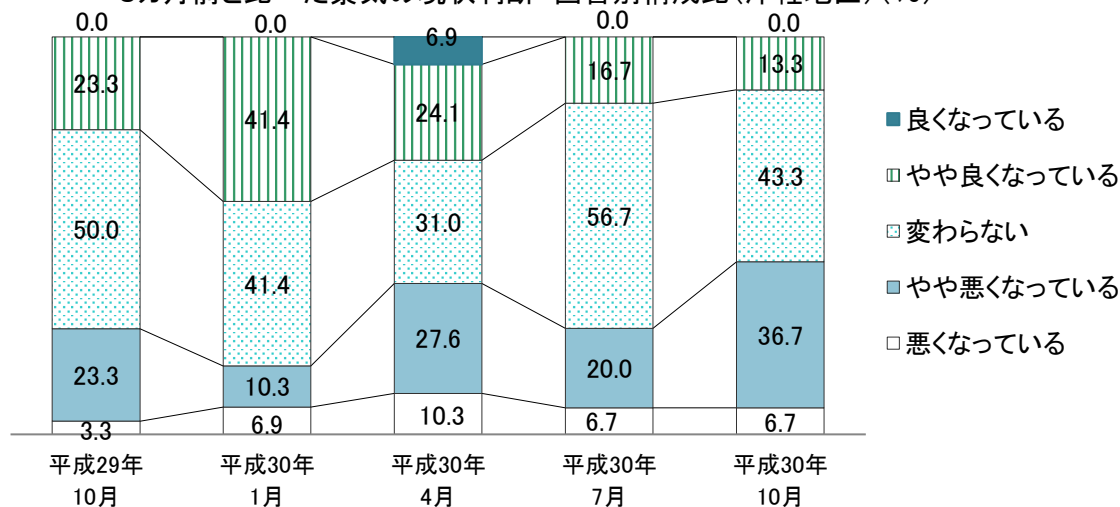
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	23.3	41.4	24.1	16.7	13.3	▲ 3.4
変わらない	50.0	41.4	31.0	56.7	43.3	▲ 13.4
やや悪くなっている	23.3	10.3	27.6	20.0	36.7	16.7
悪くなっている	3.3	6.9	10.3	6.7	6.7	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



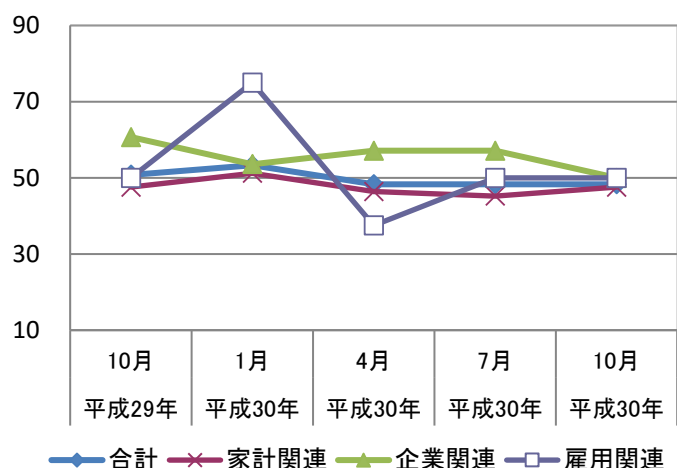
< 県南地区 >

① D I

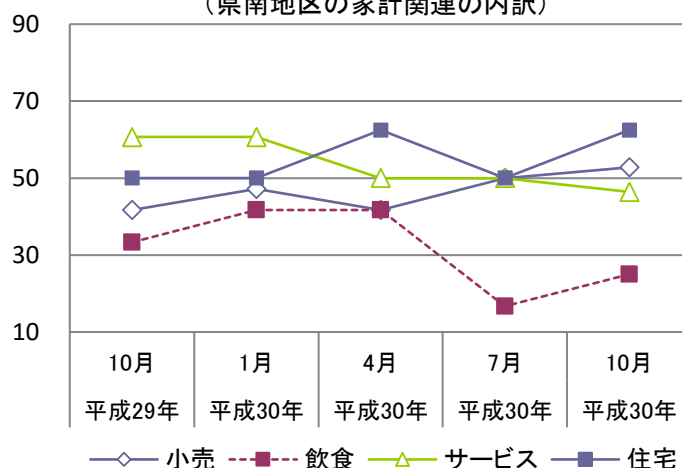
n = 30

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>50.8</b>	<b>53.3</b>	<b>48.3</b>	<b>48.3</b>	<b>48.3</b>	<b>0.0</b>
家計関連	47.6	51.2	46.4	45.2	47.6	2.4
小売	41.7	47.2	41.7	50.0	52.8	2.8
飲食	33.3	41.7	41.7	16.7	25.0	8.3
サービス	60.7	60.7	50.0	50.0	46.4	▲ 3.6
住宅	50.0	50.0	62.5	50.0	62.5	12.5
企業関連	60.7	53.6	57.1	57.1	50.0	▲ 7.1
雇用関連	50.0	75.0	37.5	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



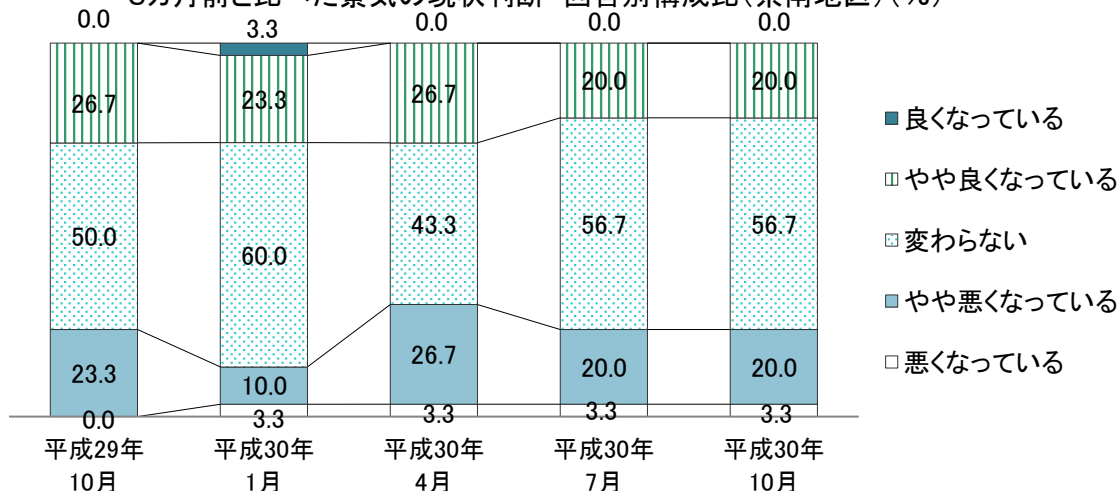
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	26.7	23.3	26.7	20.0	20.0	0.0
変わらない	50.0	60.0	43.3	56.7	56.7	0.0
やや悪くなっている	23.3	10.0	26.7	20.0	20.0	0.0
悪くなっている	0.0	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)





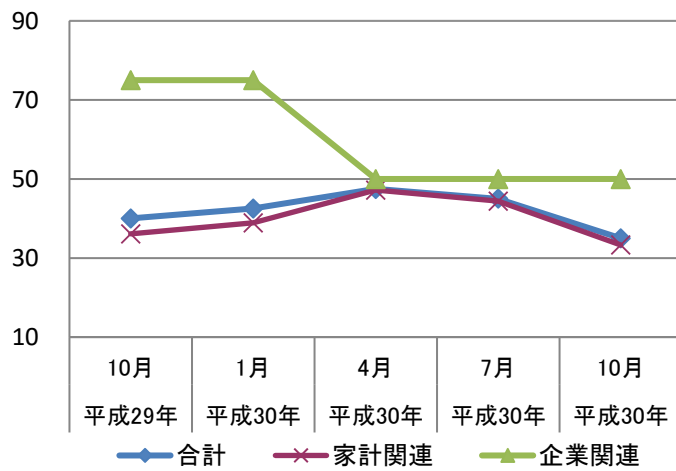
<下北地区> (参考)

①DI

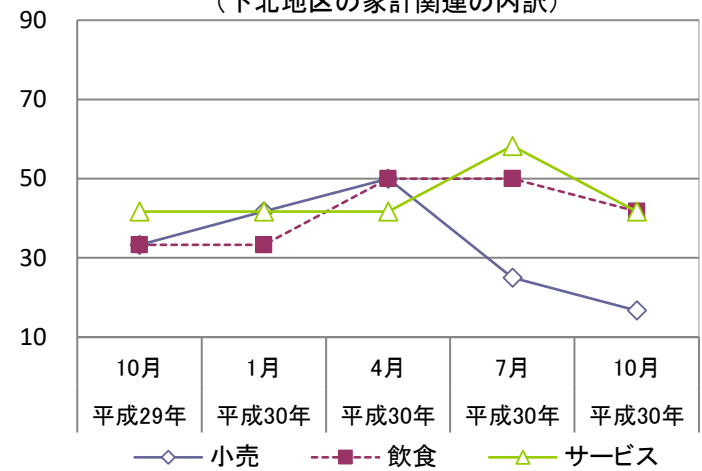
n = 10

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>40.0</b>	<b>42.5</b>	<b>47.5</b>	<b>45.0</b>	<b>35.0</b>	<b>▲ 10.0</b>
家計関連	36.1	38.9	47.2	44.4	33.3	▲ 11.1
小売	33.3	41.7	50.0	25.0	16.7	▲ 8.3
飲食	33.3	33.3	50.0	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	41.7	41.7	41.7	58.3	41.7	▲ 16.6
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	50.0	50.0	50.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



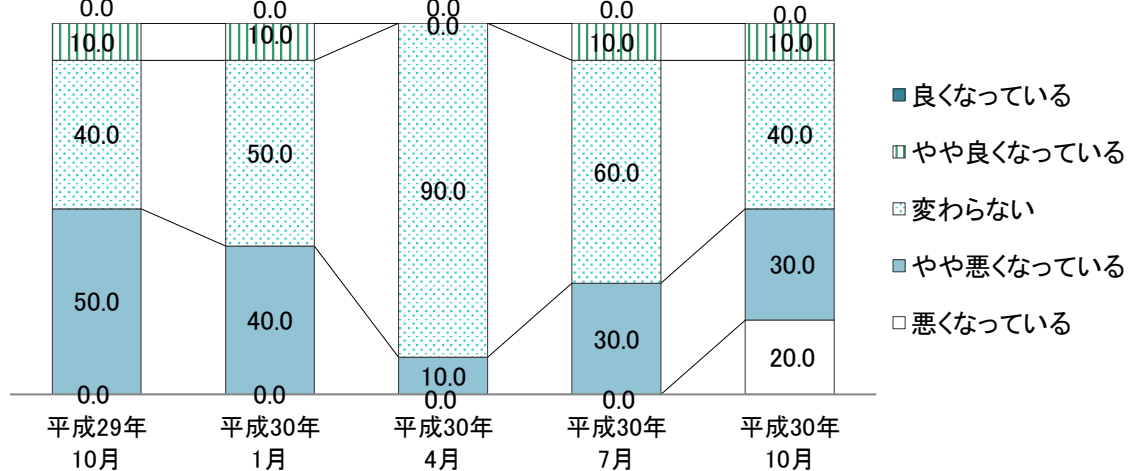
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
変わらない	40.0	50.0	90.0	60.0	40.0	▲ 20.0
やや悪くなっている	50.0	40.0	10.0	30.0	30.0	0.0
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



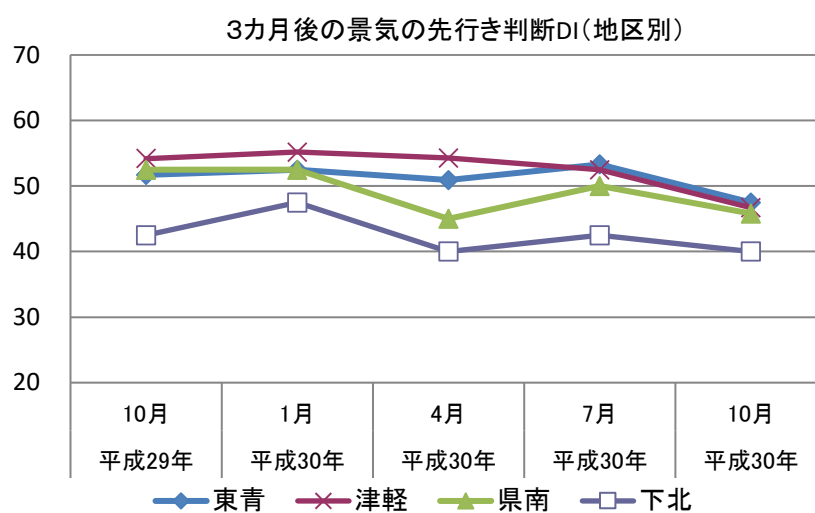
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

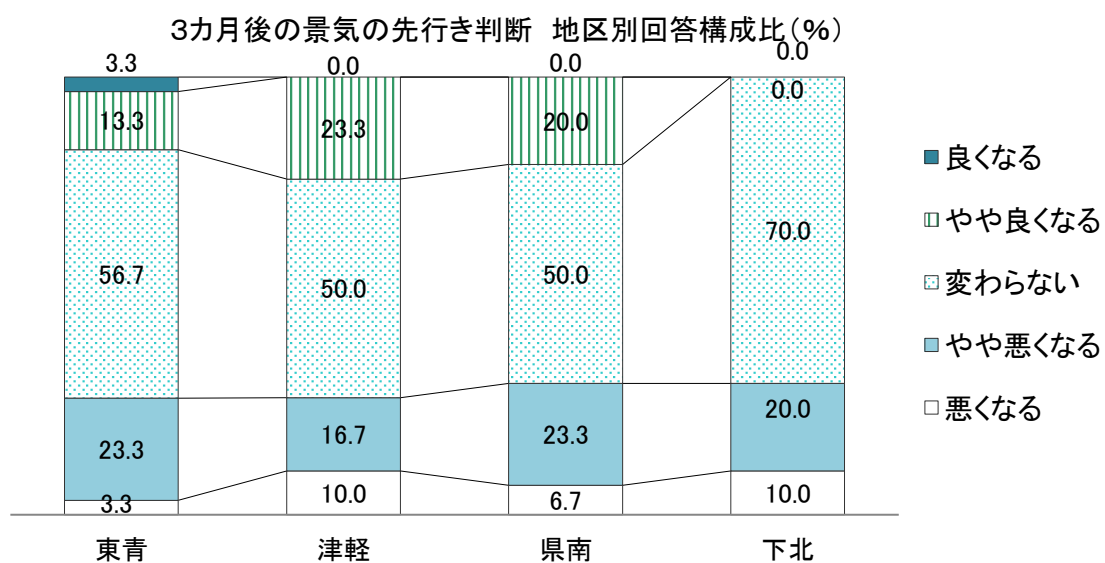
n = 100

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
合 計	51.8	52.8	49.0	51.0	46.0	▲ 5.0
東青	51.7	52.5	50.9	53.3	47.5	▲ 5.8
津軽	54.2	55.2	54.3	52.5	46.7	▲ 5.8
県南	52.5	52.5	45.0	50.0	45.8	▲ 4.2
下北	42.5	47.5	40.0	42.5	40.0	▲ 2.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	13.3	23.3	20.0	0.0
変わらない	56.7	50.0	50.0	70.0
やや悪くなる	23.3	16.7	23.3	20.0
悪くなる	3.3	10.0	6.7	10.0



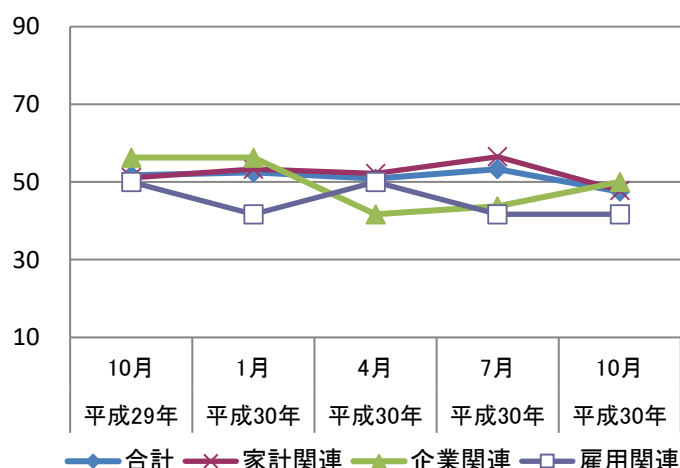
<東青地区>

①DI

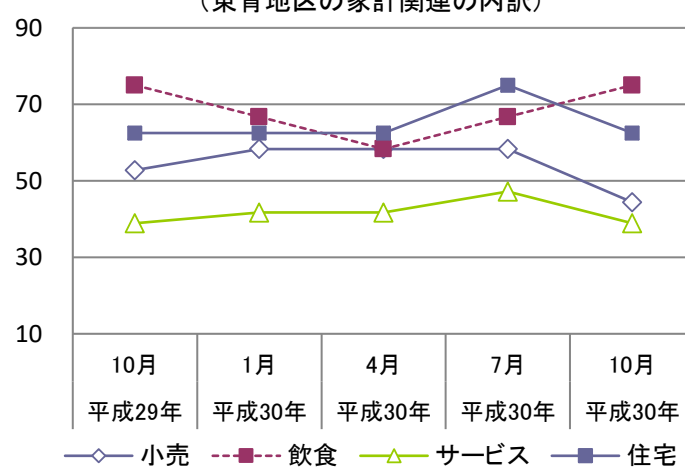
n = 30

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
合 計	51.7	52.5	50.9	53.3	47.5	▲ 5.8
家計関連	51.1	53.3	52.2	56.5	47.8	▲ 8.7
小売	52.8	58.3	58.3	58.3	44.4	▲ 13.9
飲食	75.0	66.7	58.3	66.7	75.0	8.3
サービス	38.9	41.7	41.7	47.2	38.9	▲ 8.3
住宅	62.5	62.5	62.5	75.0	62.5	▲ 12.5
企業関連	56.3	56.3	41.7	43.8	50.0	6.2
雇用関連	50.0	41.7	50.0	41.7	41.7	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



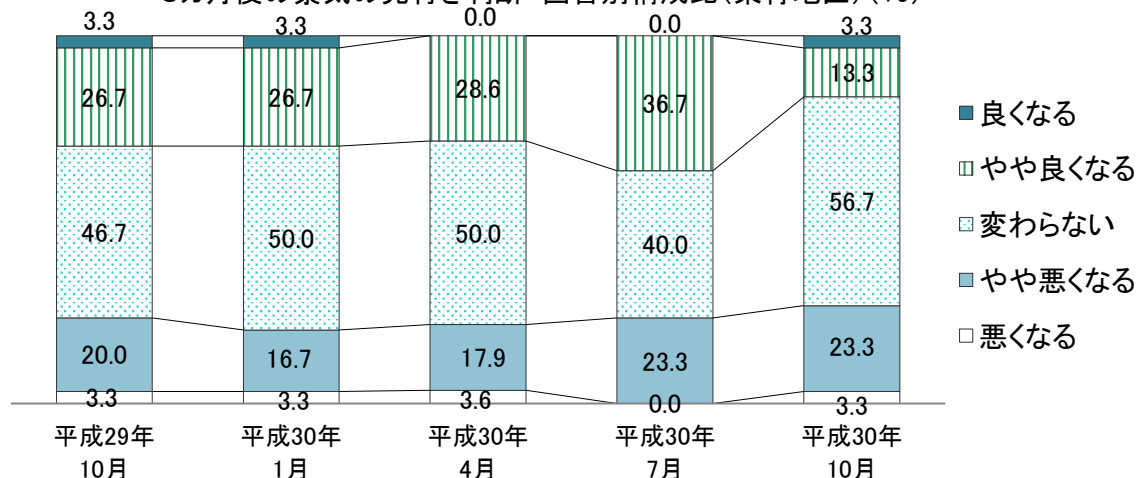
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなる	26.7	26.7	28.6	36.7	13.3	▲ 23.4
変わらない	46.7	50.0	50.0	40.0	56.7	16.7
やや悪くなる	20.0	16.7	17.9	23.3	23.3	0.0
悪くなる	3.3	3.3	3.6	0.0	3.3	3.3

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)(%)



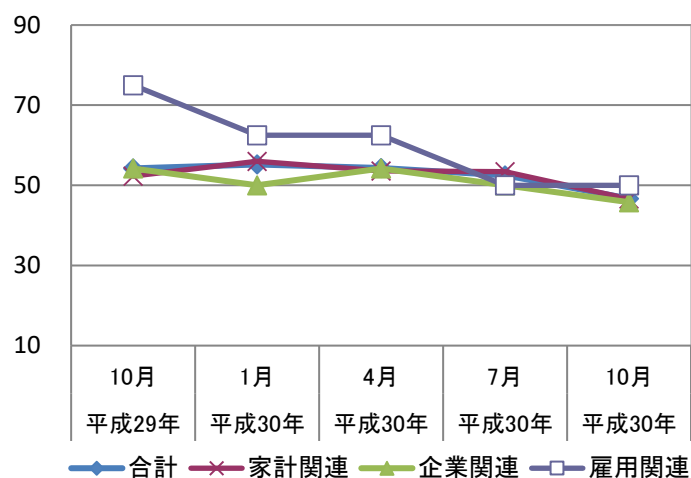
<津軽地区>

①DI

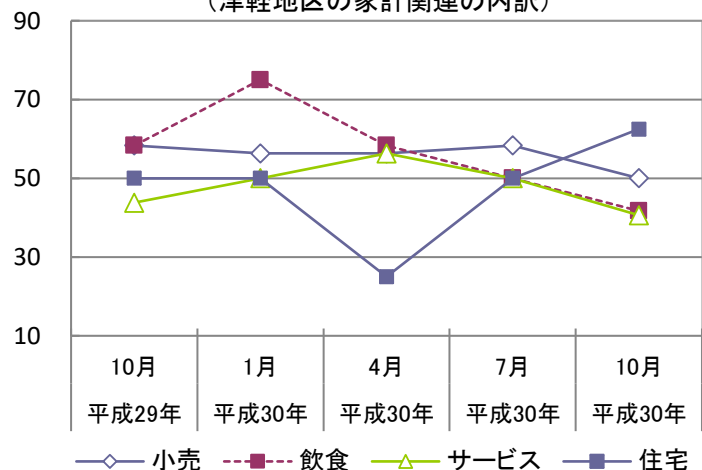
n = 30

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
合 計	54.2	55.2	54.3	52.5	46.7	▲ 5.8
家計関連	52.3	56.0	53.6	53.4	46.6	▲ 6.8
小売	58.3	56.3	56.3	58.3	50.0	▲ 8.3
飲食	58.3	75.0	58.3	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	43.8	50.0	56.3	50.0	40.6	▲ 9.4
住宅	50.0	50.0	25.0	50.0	62.5	12.5
企業関連	54.2	50.0	54.2	50.0	45.8	▲ 4.2
雇用関連	75.0	62.5	62.5	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



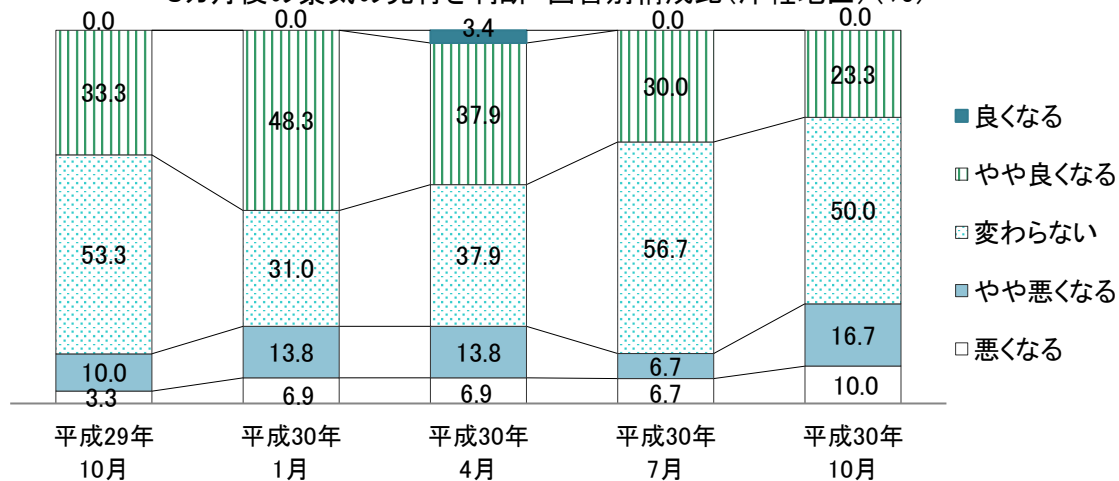
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	33.3	48.3	37.9	30.0	23.3	▲ 6.7
変わらない	53.3	31.0	37.9	56.7	50.0	▲ 6.7
やや悪くなる	10.0	13.8	13.8	6.7	16.7	10.0
悪くなる	3.3	6.9	6.9	6.7	10.0	3.3

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



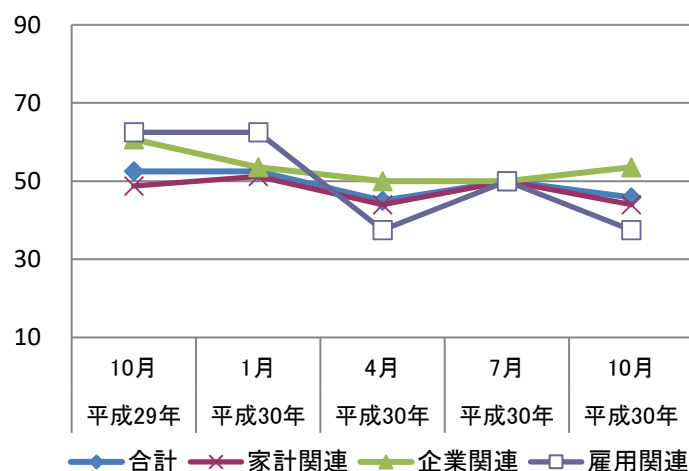
< 県南地区 >

① D I

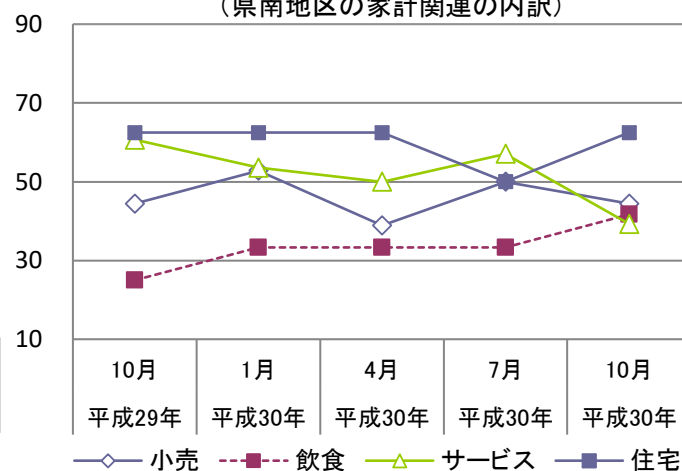
n = 30

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>52.5</b>	<b>52.5</b>	<b>45.0</b>	<b>50.0</b>	<b>45.8</b>	<b>▲ 4.2</b>
家計関連	48.8	51.2	44.0	50.0	44.0	▲ 6.0
小売	44.4	52.8	38.9	50.0	44.4	▲ 5.6
飲食	25.0	33.3	33.3	33.3	41.7	8.4
サービス	60.7	53.6	50.0	57.1	39.3	▲ 17.8
住宅	62.5	62.5	62.5	50.0	62.5	12.5
企業関連	60.7	53.6	50.0	50.0	53.6	3.6
雇用関連	62.5	62.5	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



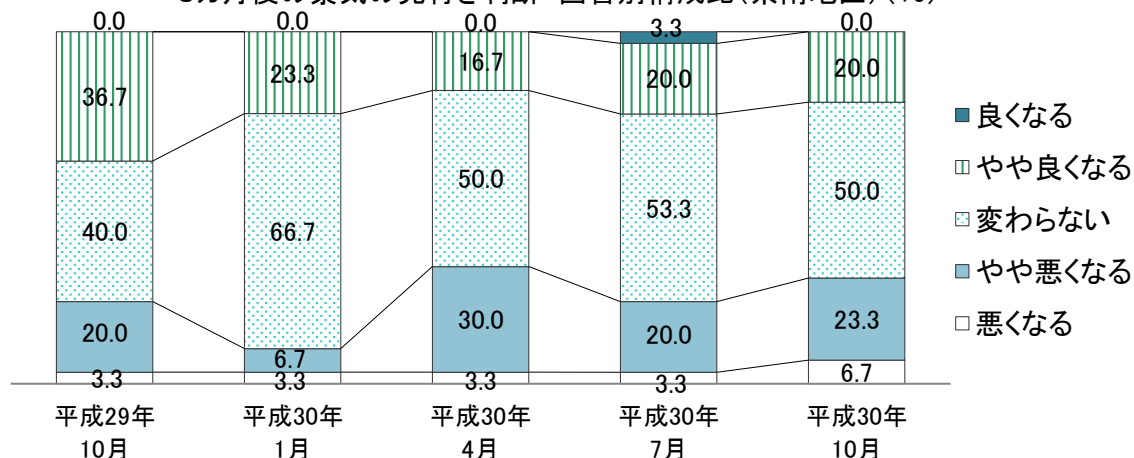
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなる	36.7	23.3	16.7	20.0	20.0	0.0
変わらない	40.0	66.7	50.0	53.3	50.0	▲ 3.3
やや悪くなる	20.0	6.7	30.0	20.0	23.3	3.3
悪くなる	3.3	3.3	3.3	3.3	6.7	3.4

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)(%)



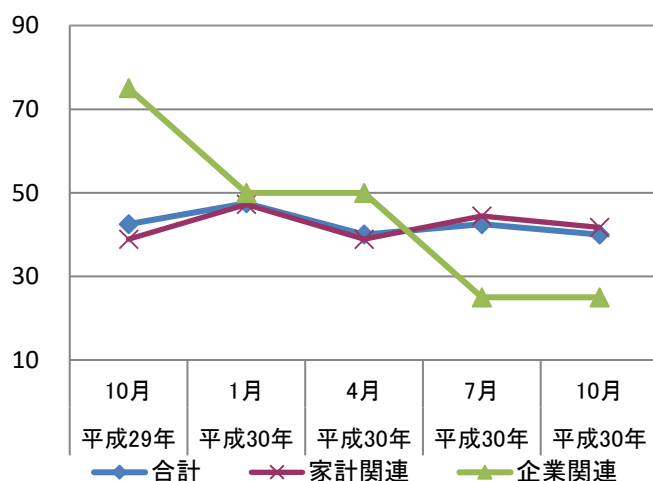
<下北地区> (参考)

①DI

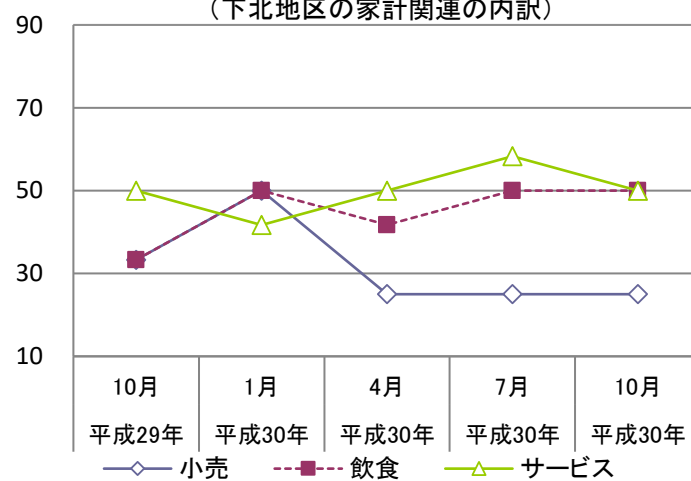
n = 10

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
合計	42.5	47.5	40.0	42.5	40.0	▲ 2.5
家計関連	38.9	47.2	38.9	44.4	41.7	▲ 2.7
小売	33.3	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0
飲食	33.3	50.0	41.7	50.0	50.0	0.0
サービス	50.0	41.7	50.0	58.3	50.0	▲ 8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月後の景気の先行き判断DI(下北地区)



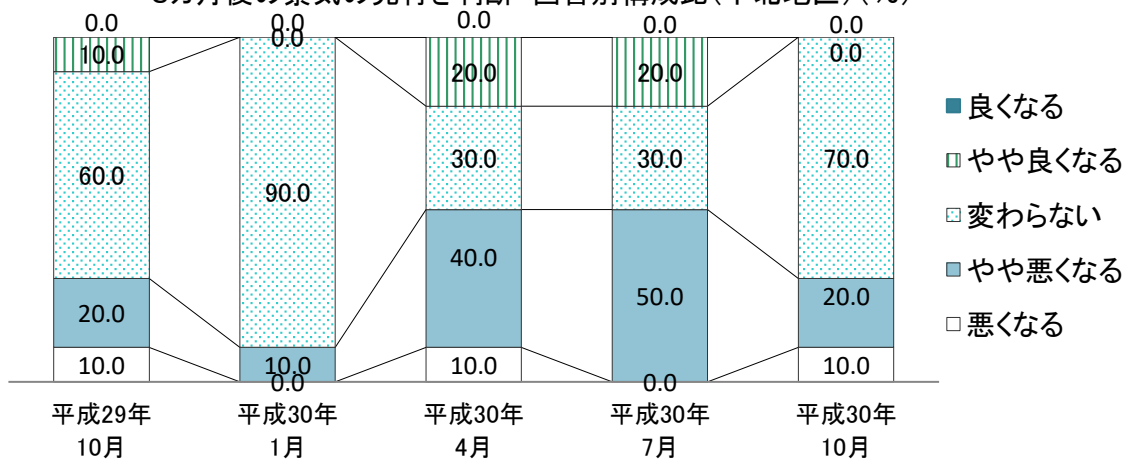
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	0.0	20.0	20.0	0.0	▲ 20.0
変わらない	60.0	90.0	30.0	30.0	70.0	40.0
やや悪くなる	20.0	10.0	40.0	50.0	20.0	▲ 30.0
悪くなる	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)(%)



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計	東青	衣料専門店	市役所駅前庁舎（旧アウガ）、新商工会議所会館効果が、オープン半年を経過しジワジワと出てきている。それと、宿泊の観光客、各団体の中心街区でのイベント効果が出ていると思う。	
			観光型ホテル・旅館	夏、秋ともに前年を上回る宿泊売上げ。	
			住宅建設販売	消費税増税に向け、販売意欲が高まってきている。	
		津軽	卸売業	繁忙期が秋からであるため。	
			美容院	外国からの観光客が増えている。	
			住宅建設販売	受注増の傾向にある。	
		県南	コンビニ	工場の設備投資。住宅や建物が建ってきている。	
			一般小売店	たびたび利用する新幹線に乗り込んで感じることは、インバウンド効果が確実に東北地方にも及んでいることと、元気な高齢者マーケットが増加していること。	
			商店街	ビジネス・観光ともに、八戸への来訪者が増えているように感じる。	
	卸売業		世間話で、子供の給与・賞与が高いという話を聞くことが多い。10月から最低賃金も引き上げになるため、景気は上向くと思う。最低賃金に関係のない人は、何も変わらないですが。		
	設計事務所		入札等を見ていると、仕事のあるなしがはっきりしていることがわかる。それでも少し良くなっていると思う。		
	下北	都市型ホテル	宴会は、ほぼ前年並みで推移しているものの、宿泊予約が好調で、満室の日も増えている。		
	企業	津軽	食料品製造	夏が暑かった。夏物商品が好調だった。	
		県南	広告・デザイン	広告業に関しては、景気が良いとは言えない。通常の仕事が通常通りあるだけ。	
	変わらない	家計	東青	百貨店	売上、前年確保に苦戦。10月は確保。
				スーパー	来店客数が前年割れ。3カ月前と大きな変化はない。
家電量販店				お客様動向が、3カ月前と極端に変わらないため。	
卸売業				商品出荷量が増えない。	
一般飲食店				8月～9月は、祭りとその余波で、景気は悪くはなかった。秋になり冷え込んでくると、飲食業は毎年ですが、出控えるといった感じでしょうか。	
スナック				8月は、忙しくて当然だと期待していましたが、外れました。なぜか9月は、思った以上にお客様の流れが良かったが、でも極端過ぎますね。	
観光名所等				4～9月の月別入場者数は、前年比増加が3カ月、減少が3カ月となっている。	
旅行代理店				インバウンド（海外から）のお客様が増えているが、景気が良くなっているという実感がない。	
美容院				老年のお客様が多く、出入りが少なくなった。	
パチンコ				売上が横ばいである。	
ガソリンスタンド				どこの業界も人手不足が深刻だが、かと言って、仕事量や売り上げが増加している訳ではない。	
設計事務所				景気の良さが、肌で感じるほどには至っていないが、大過なく社会が推移している。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	乗用車販売	全国的な景気判断によると、「緩やかに回復」という内容になっているが、青森県内の状況を見ると、停滞もしくは落ち込んでいるように感じる。
			観光名所等	インバウンド、外客の減少。国内客の減少。
			パチンコ	大きな変動がないため。
			設計事務所	大型物件の設計、建築が、来年の消費税アップを踏まえて動いているケースが多い。来春までは続くものと思います。
		県南	家電量販店	お客様数、単価、売上とも、大きな変化はなく推移しています。
			スナック	3カ月前も、好調に感じていたため。
			観光名所等	入客数・売上ともに例年並みであり、大きな変化は見られない。
			タクシー	前は、10月期には期待以上の仕事があるのではないかと考えていたが、残念ながら、そんなに変わらない。街に人がいないと思うときが多々ある。
			美容院	来店間隔が長くなっている。特に高齢者の動きが鈍い。外出の機会が少なくなっているのではないかと。
		下北	ガソリンスタンド	有効求人倍率の上昇が、即ち景気回復と言えるのか甚だ疑問。人口減少は、団塊の世代の離脱によるものと思われ、ペースは変わらないのでは。
			一般飲食店	3カ月前同様、お客様の足が途絶えており、出歩く人の数が減ってきているようだ。
			レストラン	今後、消費税の税率が上がることを考えると、外食産業は厳しい状況になってくる。
	ガソリンスタンド		県内で外国人旅行者が増えていると言いますが、下北では、ほとんどと言っていいほど、外国人観光客を見かけません。	
	企業	東青	建設	7年程前と比べると、「やや良い」のまま変わりません。
			経営コンサルタント	多くの業種で人手不足が見られるが、消費は横ばいが続いているので、全体としては変わらないのではないかと。
		津軽	電気機械製造	生産数量は横ばいのため。
			経営コンサルタント	医療業、福祉業（老人・障害者）、製造業等で売上が伸びている（若しくは満床である）と、訪問先で聞く。老人施設や保育業の労働者への給料改善や業務加算として、市町村から給付される金額（月額約5,000円～30,000円程度）が、給料の底上げに貢献していると思う。
			広告・デザイン	仕事量が特に増えている訳でもなく、変わらない状況が続いている。
		県南	食料品製造	新物原材料に切り替わる時期であるが、動燃費等の高騰・先高感が続いているため。
			飲料品製造	酷暑の影響か、飲食店等に客足が少なく感じた。もちろん、消費へも連動する。
			電気機械製造	米中貿易摩擦の影響で、中国の対米輸出が大幅に減っている。しかし、今のところは、少し前までの好景気の勢いが少し続いている。
経営コンサルタント			人材不足です。初任給を上げて募集しても、応募が来ない。仕事はあっても、こなせない状態が続く。	
下北		食料品製造	ここ数カ月の出荷数、売上数等は、昨年同期とほぼ変わっていない。	
雇用		東青	新聞社求人広告	住宅、自動車販売において、好調な話を聞かない。求人も、好況による人手不足を感じるまでには至っていないと思う。
		津軽	新聞社求人広告	好材料に乏しい。ガソリン高も気になる。
	県南	新聞社求人広告	求人広告は増えているが、景気の良さは感じられない。	



現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	コンビニ	天候も悪くなり、外へ出る人が少なくなった。
			商店街	来街客数の減少。新規開業店の売上は好調ですが、既存店の売上が減少している。
			レストラン	青森の最大のイベントである夏のねぶたシーズンが、県外からの観光客がピークであった。9月10月は連休もあったが…。これからの紅葉シーズンに期待。
			都市型ホテル	台風や地震などの自然災害が続き、予約のキャンセルが発生している。また、仕入れ価格の上昇が食品関係に見られ、収益を圧迫している。
			タクシー	大雨、台風等の異常気象の影響もあり、ただでさえ悪い景況感が、さらに悪い方へ向かっているように感じる。
			競輪場	売上及び入場者数が減ってきている。時期的な問題かも知れないが、農繁期が理由か。
	津軽	スーパー	災害が多発しており、今後への不安が増している時と見られ、購買意欲も必要最小限になってきている。	
		衣料専門店	人出が悪い。	
		一般小売店	9月は少し盛り返したが、7,8月は猛暑のため厳しかった。	
		商店街	よさこい津軽や弘前ねぶた開催時期と比べると、どうしても、来街者も賑わいも減少してしまう。	
		一般飲食店	天災によるインバウンド客及び県外客の減少。	
		レストラン	春頃より客足が「鈍い」。何なのか。他の業種でも同じようなことを話している。	
		都市型ホテル	全国的な自然災害の多発と、原油高による仕入原価の上昇。	
		旅行代理店	全体的に、少しずつ売上げが減少。	
		ガソリンスタンド	人手不足のため求人を出しているが、なかなか見つからず、人件費だけが高騰している。	
		県南	百貨店	台風や地震などの自然災害による影響と、ガソリン価格の高騰もあり、不要不急の消費は控える傾向が強くなったと感じるため。
	スーパー		ガソリン価格がさらに上昇。真っ先にシワ寄せが来るのが食費。	
	衣料専門店		自然災害による消費マインドの低下。直接の被災地ではなくても、情報取得の発達により、マイナス要素のある情報に触れる機会が拡大している。	
	一般飲食店		移転したため、比較はまだ客観性に乏しいが、他店の情報では、あまり良くないようだ。要因は、天候不順等が挙げられる。	
	下北	コンビニ	精神的にギスギスして、晴れやかなお金の使い方をしない。	
スーパー		お客様の買い物で、高額品の買い物が減っている。		
企業	県南	建設	タクシーの運転手との会話で、飲食店への人出が少なくなり、閉める店も多くなってきたと聞いた（自分もあまり出なくなつて、家飲みが多くなった）。	
雇用	東青	求人情報誌	冬に向けての物価上昇等。	
悪くなっている	家計	津軽	コンビニ	同業者の増加。
		県南	レストラン	平日、出張のお客様が減ってきている。接待の回数もだいぶ減っており、夜よりは、お昼にランチを食べに来ているように思います。
	下北	一般小売店	客足が鈍い。財布のヒモが固い。お盆過ぎから、何かがおかしいような気がします。	
		タクシー	今年は自然災害が多く、観光客が激減した。	

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	販促等、営業に力を入れる時期です。その結果、人の動きも活発になって行くと思います。また、周辺にビルもできるので、人の動きにも期待しています。
やや良くなる	家計	東青	衣料専門店	市役所駅前庁舎、新商工会議所会館、インバウンド、中心街区での各種イベント、この秋完成する新聞社の新町ビル、百貨店前のホテル。これらのことを考慮すれば、景気上向きしか考えられない。
			レストラン	これから年末にかけて、いろいろとイベントがあるため。
			住宅建設販売	平成31年3月末の契約に向けた動きが、活発になると思われるため。
	津軽		家電量販店	4K、8K実波スタートに伴うテレビ、チューナーの需要の高まり。
			一般小売店	インバウンドが少しずつ増えてきている。
			商店街	秋はイベントも多く、紅葉シーズンでもあるため、来街者増となる可能性が高い。
			美容院	秋のイベントを市で企画しているので、賑やかになる。
			設計事務所	来年の着工計画である物件が、これから動き出すものと思えます（例年の傾向として）。
	県南		一般小売店	他の業界のことはわからないが、ヒット商品や、そうなるであろう次の戦略商品が、秋口から販売になるので、高付加価値マーケットを元気にしたい。低価格マーケットは、出尽くした感がある。
			卸売業	米中貿易摩擦の心配はあるけれど、朝鮮問題、国内においては政権安定など、好条件も多い。たばこが10月1日より値上げになったが、これ以上高くなればたばこをやめると言っていた人も、やはり買いだめをしていた。
			スナック	年末になるため。
			住宅建設販売	消費税増税の駆け込み需要。
	企業	東青	広告・デザイン	消費税増税前の住宅需要の増加など、駆け込み需要が始まると予測。
			津軽	電気機械製造
県南		飲料品製造	季節の変わり目で、次のシーズンへの期待と、季節商材の動きが多少出てきている。最盛期への上昇気分である。	
		経営コンサルタント	八戸市中心街の開発（マチニワ、八日町の複合ビル）が、ようやく動き出した。活性化に期待します。	
雇用	津軽	新聞社求人広告	出来秋、年末需要に期待を込めて。	
変わらない	家計	東青	百貨店	やや悪くなる可能性のほうが高い。
			商店街	冬期間の気候にも影響するが、現状よりも客数が増え、買い物単価等がアップするような要素が見当たらない。各個店の創意・工夫が必要と思われる。
			卸売業	寒くなると外出が減るため、出荷量が増えない。
			スナック	良くなるといいですが、全くわかりません。努力して頑張ります。接客は心で勝負です。
			都市型ホテル	予約状況は昨年と変わらないが、大きな伸びは期待できない。
			美容院	若い人より年配者が多く、カットはあるが、その他ではなかなか売上げにつながらない。
			パチンコ	車で街を走れば、インフラ整備が進み、施設の新築工事が見受けられるが、直接集客には結びついていない。
			設計事務所	降雪までに竣工させる工事があるため、職人は多忙ですが、景気に及ぼす内実は変わらないのでは。

先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	津軽	乗用車販売	特に良くなる要因は見当たらない。	
			都市型ホテル	インフレ政策に、地方の現状が合っていない（付いていけない）。	
			観光名所等	天候次第。	
			パチンコ	特に動きがないため。	
			住宅建設販売	今とほぼ同じと思うのは、消費税増税による駆け込み感は、今年になってから動きが顕著になるが、増幅するものの、伸びはないと考えるから。	
		県南	コンビニ	働く人の収入が増えないことには、消費にはつながらない。	
			スーパー	米中関係悪化等、不安定要素が大きい。	
			家電量販店	前年10月に少し上向きになり、実績も良かった。上期を通じて、競合他社と比較しても少しだけ良かったが、この後の状況は、少し厳しくなると考えられる。	
			一般飲食店	良くなりそうな情報が見当たらない。自努力でトントンのような感じがする。	
			観光名所等	商品に変化がないため、このまま緩やかに行くものと思われる。	
	タクシー		今が期待以下。そんなに急に変わるとは考えられない。街が活気づくことを、みんなが期待している。		
	美容院		回復する材料が見えにくい。台風、地震など天災情報により、守りに入っていくような気がする。		
	設計事務所		ずっと続いた好景気が、だんだん下向きになっていると思う。来年は選挙があるため、仕事が増えるのでは。		
	下北	スーパー	良くなる要素を感じない。		
		一般飲食店	3カ月経ったところで、そんなに急には変わらないと思います。年々、人口が減る一方です。		
		都市型ホテル	これから年末にかけての宴会等の予約は、前年と大差はなく、宿泊もオフシーズンに向かい、前年並みに落ち着きそう。		
		ガソリンスタンド	土建業では、多少公共事業が出てきて、良くはなっているようですが、原油価格が上昇し、家計や経費を圧迫するものと思われます。		
	企業	東青	建設	「やや良い」のまま、変化しないと思います（オリンピックまで大手さんが地方に戻らず、競合しないため）。	
			津軽	食料品製造	最低賃金が大幅に上がり、生活に余裕が出てくるのではないかと。
				経営コンサルタント	今のところ、大きな被害を受けるような台風等がないので、このまま推移してほしい。
		広告・デザイン	今後の景気が良くなるような要素に乏しく、変わらないのではないかと。悪くならなければ良いが。		
		県南	食料品製造	エネルギーコストの先高感や人手不足は、継続的に顕在化している一方で、原材料の先行きが、温暖化等で見通しづらくなっているため。	
			建設	人口減少は進む一方で、人材採用が難しく、仕事があっても、仕事ができない状況にある会社が多い。	
広告・デザイン			業種的には、土木建築関連の仕事が、人手が足りないほど忙しいと聞いている。その良い影響が、全体に広がれば良いが。		
雇用	東青	新聞社求人広告	地域に恩恵をもたらすようなイベントや行政の施策に、消費を大きく動かすようなものが当面見当たらない。燃料価格も上昇し、さらに今後も上昇が続く可能性がある。		
	県南	新聞社求人広告	材料がない。		

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	東青	コンビニ	物価も高くなり、冬も近づいて来ているので、使う単価も下がってきている。
			スーパー	原油の高騰で、家計を圧迫すると思われます。また、台風や地震の影響も考えられる。
			家電量販店	好転する根拠がない。
			観光名所等	徐々に閑散期を迎えてくるため。
			タクシー	ガソリン、灯油等燃料の高騰に、これから冬期間を迎えての燃料費の負担が重なり、ただでさえ不景気なのに、消費にさらにブレーキがかかることが目に見えている。
	津軽		スーパー	株価は上がっていても、地方では、その恩恵を感じることができていない。原油高や物価上昇等により、消費は冷え込むのではないかと感じるため。
			スナック	農繁期に入るため。
			観光型ホテル・旅館	台湾チャーター便が、今年は運航されないため。
			旅行代理店	冬場に向け、燃料を使うのに高騰。公共事業の減少。
	県南		百貨店	原油高によりガソリン・灯油が高騰し、北日本の家計を圧迫するため、消費者の実質所得を押し下げ、財布のヒモが固くなり、節約志向が当分続くと思われるため。
			商店街	季節的に観光が弱いため。
			旅行代理店	天候。米中貿易問題。
			ガソリンスタンド	慢性的な人手不足が、企業収益を圧迫（特に地方において）。原油価格上昇による、物価への悪影響。
	下北		コンビニ	人口減。本当に必要なものだけに、お金を使っているように見える。
	企業	東青	経営コンサルタント	天候はまずまずであったので、農業関係は良いと思うが、石油の値上がりにより、全業種で悪影響が出てくるものと思われる。
		県南	電気機械製造	米中貿易摩擦の影響が、徐々に出そうである。一部の顧客や取引先は、注文取り消しや引き締めに動き出している。
下北		食料品製造	青森県の観光シーズンも間もなく終わり、先が見えなくなる。	
雇用	津軽	人材派遣	来年10月より、8%から10%への消費税増税が予定されているが、増税時期に向けて、徐々に財布の引き締めを行う消費者が増加すると思う。特に10%は、計算がしやすいため、重税感が増すと思う。	
	県南	人材派遣	人材派遣業としても、労働者確保が厳しくなる。	
悪くなる	家計	東青	観光型ホテル・旅館	北海道胆振東部地震の対策として、復興割が実施され、しばらくは旅行先が北海道に集中すると予想。
		津軽	コンビニ	台風の被害が出そう。農家の利益が上がらないと、景気は悪くなる。
			ガソリンスタンド	原油の値上がりのため、暖房用灯油の単価が100円近くにまで上昇し、生活費の負担が増える。
		県南	衣料専門店	消費増税2019年10月実施決定による、消費マインドの低下。
			レストラン	12月はいろいろ出費があるため、今から外食を控えるようになり、1月は、12月でお金を使ってしまうので、外食をもっと控えるようになると思う。
		下北	一般小売店	消費増税がテレビ、新聞等で報じられ、まだ増税確定ではありませんが、生活防衛に向かいそうな気がします。

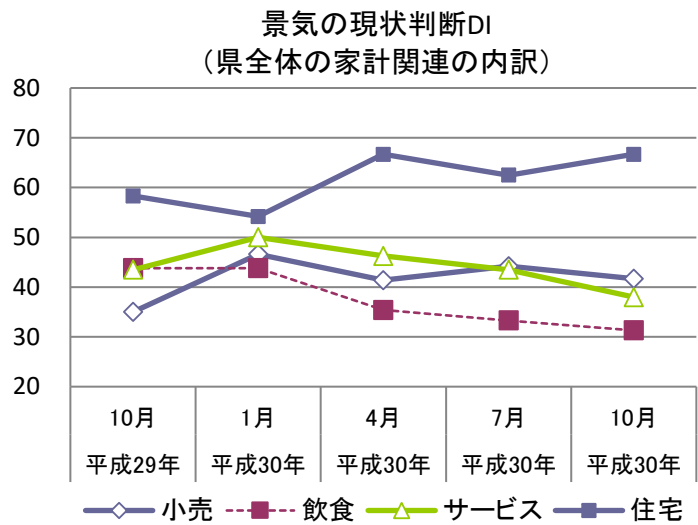
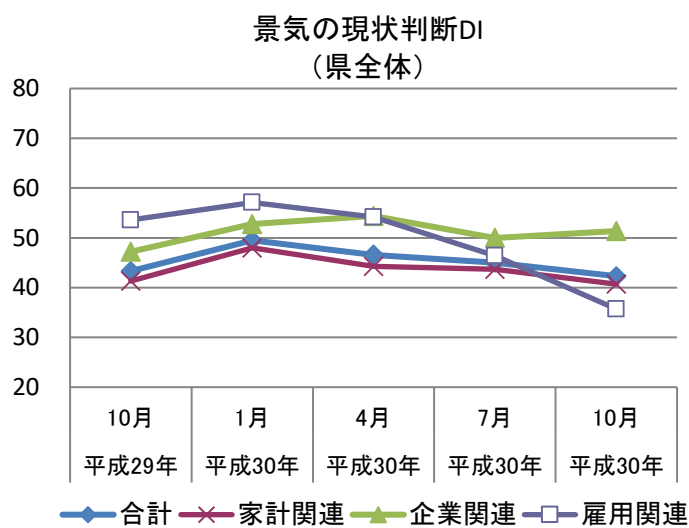
## 5. 参考

### (参考1) 景気の現状判断

#### ①DI

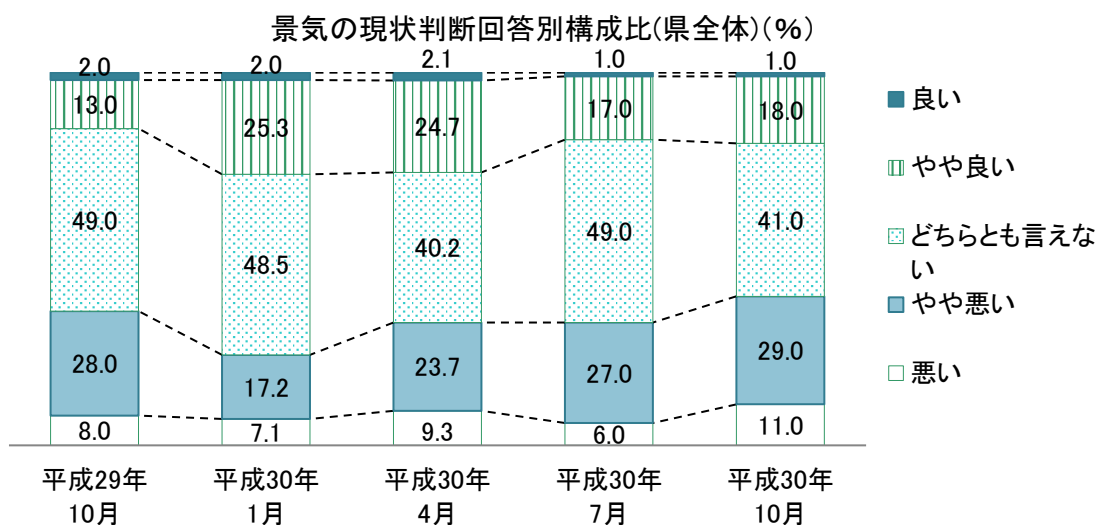
n = 100

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>43.3</b>	<b>49.5</b>	<b>46.6</b>	<b>45.0</b>	<b>42.3</b>	<b>▲ 2.7</b>
家計関連	41.3	48.0	44.3	43.7	40.7	▲ 3.0
小売	35.0	46.6	41.4	44.2	41.7	▲ 2.5
飲食	43.8	43.8	35.4	33.3	31.3	▲ 2.0
サービス	43.5	50.0	46.3	43.5	38.0	▲ 5.5
住宅	58.3	54.2	66.7	62.5	66.7	4.2
企業関連	47.2	52.8	54.4	50.0	51.4	1.4
雇用関連	53.6	57.1	54.2	46.4	35.7	▲ 10.7



#### ②回答別構成比 (%)

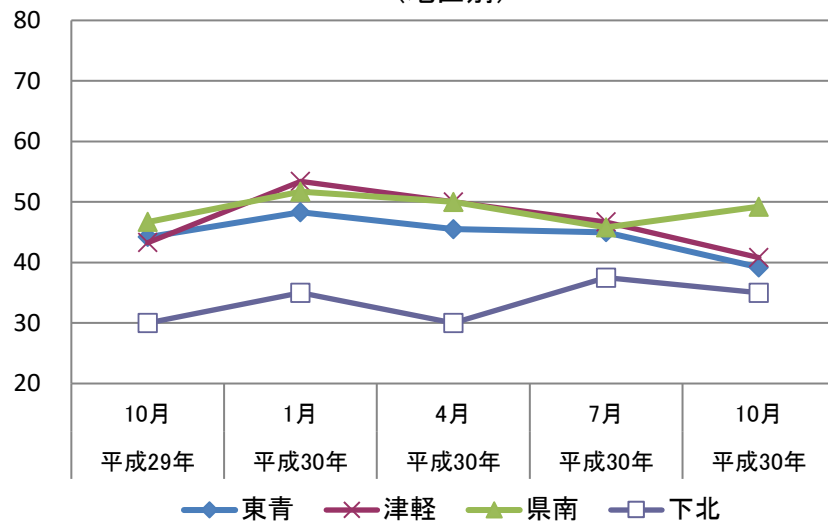
	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
良い	2.0	2.0	2.1	1.0	1.0	0.0
やや良い	13.0	25.3	24.7	17.0	18.0	1.0
どちらとも言えない	49.0	48.5	40.2	49.0	41.0	▲ 8.0
やや悪い	28.0	17.2	23.7	27.0	29.0	2.0
悪い	8.0	7.1	9.3	6.0	11.0	5.0



③地区別DI

	平成29年 10月	平成30年 1月	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>43.3</b>	<b>49.5</b>	<b>46.6</b>	<b>45.0</b>	<b>42.3</b>	<b>▲ 2.7</b>
東青	44.2	48.3	45.5	45.0	39.2	▲ 5.8
津軽	43.3	53.4	50.0	46.7	40.8	▲ 5.9
県南	46.7	51.7	50.0	45.8	49.2	3.4
下北	30.0	35.0	30.0	37.5	35.0	▲ 2.5

景気の現状判断DI  
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	リーダー交代で、これほどの効果が現れる。首長選びの大事さを実感します。最近の会合などでは、以前の反対派も嘘のように、好景気の話で持ちきりです。
		商店街	①お客様の動き…高額品や質の高い商品等には、興味がないように感じられる。②各店舗の方々…観光客の皆様を期待しているが、さらに自店の魅力アップが必要。
		一般飲食店	消費者が経済活動をしやすい、あるいは希望が持てるように、商工会などが、種々の取組をしてほしい。また、自分たちも実行しなければならないと思います。各種イベントも、一過性のものでなく、持続性のあるようなものを、もっと打ち出すべきだとも思います。
		レストラン	今シーズンは台風が多く、キャンセルも多かったような。それでも県外のお客様は、年々増えているような。PRの成果だと思います。
		住宅建設販売	消費税増税後の動きが不安。
	津軽	商店街	弘前の市立病院と国立病院の統合、台風や地震などの災害被害による影響が、どのように出てくるのか不安である。
		観光名所等	県内の漁獲量は減少予想か？台風や地震、余震等の災害。
		旅行代理店	人口減の影響が、少しずつ出てきている。業界の見積り過当競争が起きている。
		ガソリンスタンド	9月は祝日・振替休日で三連休が2回あったが、両三連休の最終日は、市内に人や車が少なかった。
		住宅建設販売	昨年あたりから今年にかけ、消費税増税による駆け込みのような動きは確かにあります。しかし、所得水準が上がってくることはなく、物価（資材）の値上がりで右肩上がりとなり、お客様予算との乖離は、今まで以上に大きくなると思います。受注売上アップ、利益率ダウン、経費増。結局、経常利益は変わらないか、若干マイナスか。
	県南	コンビニ	働いていただける方を探しています。
		一般小売店	八戸市内でNo.1の立地に建つマンションのチラシを入手したが、まだ値段も発表されていないのに、話題となっている。
		商店街	朝市に代わる、冬季の名物があれば良いと思う。
		卸売業	先日、函館に行きましたが、ホテルの宿泊客はほぼ外国人でした。ホテル以外でも、日本語の次に外国語のアナウンスがかなり流れており、インバウンド対策がとられていました。果たして、青森、八戸はどうであろうか。対策をしなくては。
		スナック	良い業種と悪い業種の差が、大きくなってきているように思います。
		タクシー	街の人々は言う。「人口は減る、年金は減る、給料も減る、仕事も減る、災害は増える、希望は減らしたくない」と。
		美容院	激甚災害指定が、国民全体にマイナス要因となっている。経済効果が表れるまでに何年かかるか。
	下北	コンビニ	百円玉で何千円も買い物をする人が増えて、百円玉が余ってきた。
		スーパー	食料品は横ばい。衣料品は下がり続けています。
		一般飲食店	現代の若い子たち（20歳以上）は、チューハイ一杯で一時間も粘るんですよ。参ってしまいます。
企業	東青	建設	「さよなら、オッサン」という広告が物議を醸したが、今後に対する漠然とした閉塞感、世代交代が進まないことに対する不安なのかもしれない。
		建設	今年の台風は本土上陸が多い。それも、「今までにない」「かつてない」等の表現が使われています。また地震も、3・11の大震災のように続けて起きています。地球は大丈夫なのか不安でたまらない。青森県の被害はそれほど大きくはなく、ほっとしていますが、まだ安心できない。良い方へ向かって行ってほしい。
	津軽	食料品製造	市内では、外国人はそれほど見かけないが、弘前公園には、かなりの外国人観光客が来ている。
		飲料品製造	青森県（地域も）の特産品を、もっと県アピールしてはどうか。
		経営コンサルタント	個人用の住宅の建設が、とても多いように感じる。自宅から職場までの約1kmくらいの区間で、春から現在までで7件ほど新築（または建て替え）の家が建っている。
	広告・デザイン	中央都市部及び大企業は、景気が良いようだが、労働者の可処分所得は、特に増えている訳でもないのが実情であり、個人消費も特に上昇していない。地方では、もっと深刻な現状にあると思う。	
	県南	電気機械製造	この調査は「日々の仕事やお客様の様子から、身の回りの景気について回答してください」とあるが、当社は、取引先もお客も、ほとんど全て県外です。そのような状況の方は多くいるとは思いますが、結局は青森県経済と言っても、今や日本全体や世界の動きと無縁とは言えないのではないのでしょうか。
		建設	まだ具体的な動きは見られないが、今後、消費税アップが実施される前に、動くケースが予想される（自分も含めて）。
		経営コンサルタント	顧問先の中でも、労働力不足が顕著です。今いる従業員が辞めたら、廃業するという顧問先が何件かあります。
	雇用	東青	新聞社求人広告

# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れない、きめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

#### ○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

#### ○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
  - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断  
参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ  
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038